

MentorsSchool 説明会

今日の流れ

- 概要
- スクールの内容について
- スクールのゴール
- スケジュールや費用について
- 質問タイム

概要

MentorsSchoolは、実際のサービス開発を通して自分のコードを良くしていくことや、サービス作りのフローを学習することを目的としたメンターのためのスクールです。

今回は、リクルーティングリポジトリというリポジトリ作成を通してサービス開発の仕方を教えます。

リクルーティングリポジトリとは？

リクルーティングリポジトリは、**Recruit + Repository**の造語です。

つまり、就活や転職などの際に他人に見せるためのリポジトリのことです。

なぜ、就活にリポジトリ？

企業の人は、採用の時点でその人がどれだけレベルかを知りたいと思っています。

特に、面接でのコーディングなどと違い、普段から書いているコードにはその人のクセがあるので、それを見たい

実際にリポジトリの提出を求められるのか？

- Cyber Agent
 - DeNA
 - mixi
 - Wantedly
 - リクルート
 - Yahoo japan などなど
- ※運営陣調べ

リポジトリを通して伝わること、伝えること

- プロジェクトの設計について
- ライブラリを選択した理由
- コードの意味（局所的にも、全体的にも）
- こだわったポイント

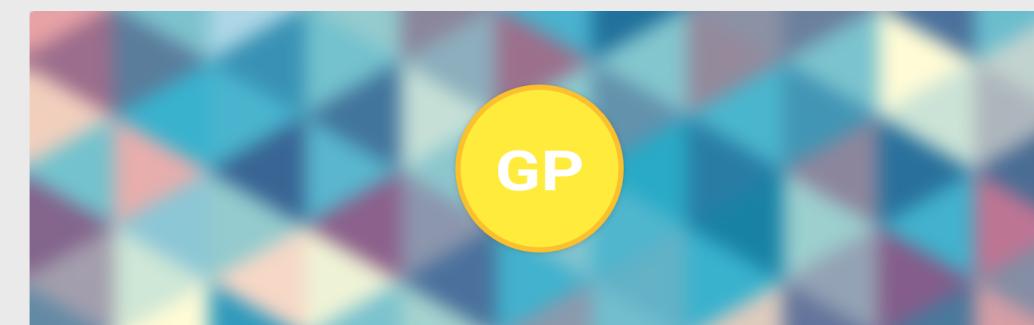
サンプル

実際に提出したリクルーティングリポジトリ

KodicというAPIを使った簡単な辞書アプリ



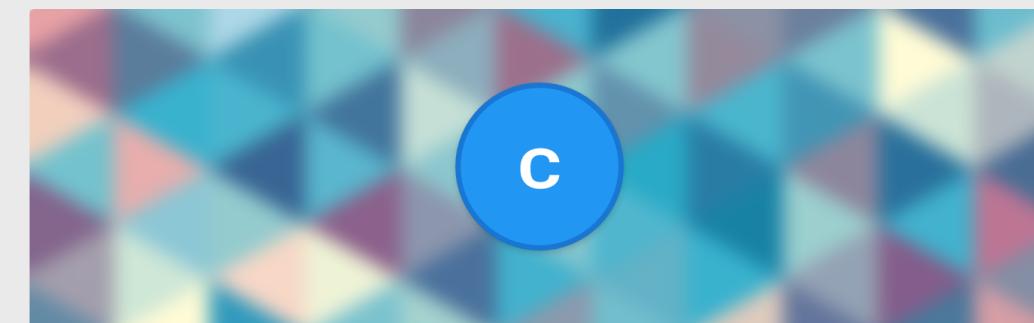
Kodic



GodicParents

Shun Hosaka

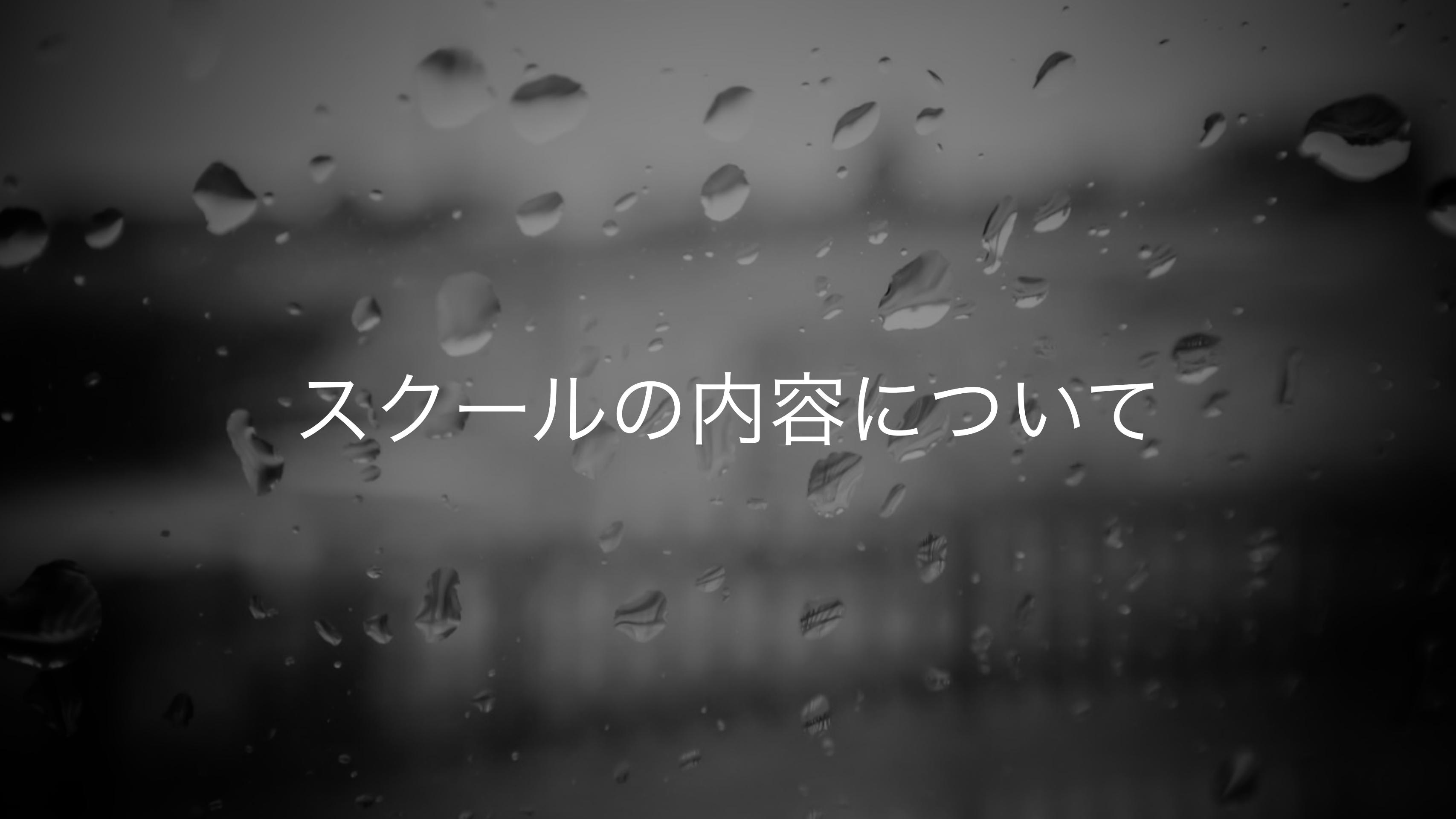
CodicのKotlinサンプル用Androidアプリ



Count

Shun Hosaka





スクールの内容について

Contents

コーディング

1. 見やすいコード
2. 規約のあるコード
3. 変更に強いコード
4. テストについて

チームマネジメント

1. チーム開発のプロセス
2. 技術の共有について
3. コードレビューのやり方
4. タスクの切り方

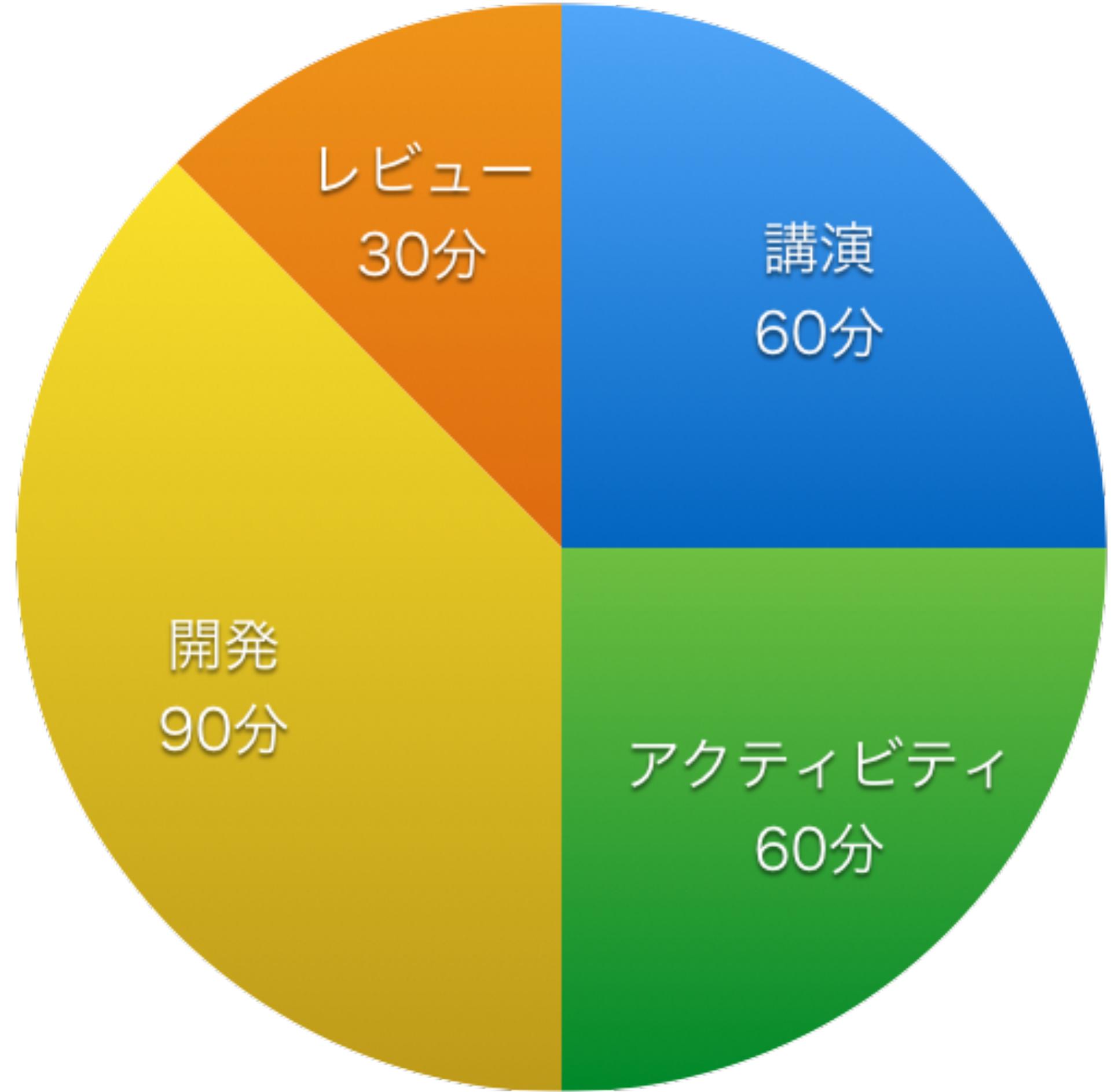
サービス開発

1. サービス開発のプロセス
2. アイディアの作り方
3. 仕様の作り方
4. モックアップ
5. サービスの運用・保守

セルフ・マネジメント

1. 情報収集のやり方
2. 情報発信のやり方
3. コードを評価してもらう
4. コミュニティになれる

各スクールの構成



スクールのゴール

1. 現役エンジニアに負けない技術力を身につける
2. 力があることを周囲に示す
3. 自分の作りたかったものを作る！！

学んでほしいこと

1. よいコードとは何か
2. サービス作りに必要なこととは何か

「どんなプログラマーでもコンピュータに理解できる
コードは書ける。しかし優秀なプログラマーだけが、
人間に理解できるコードを書くことができる。」

～Martin Fowler～

でも、やりたいことは1つ

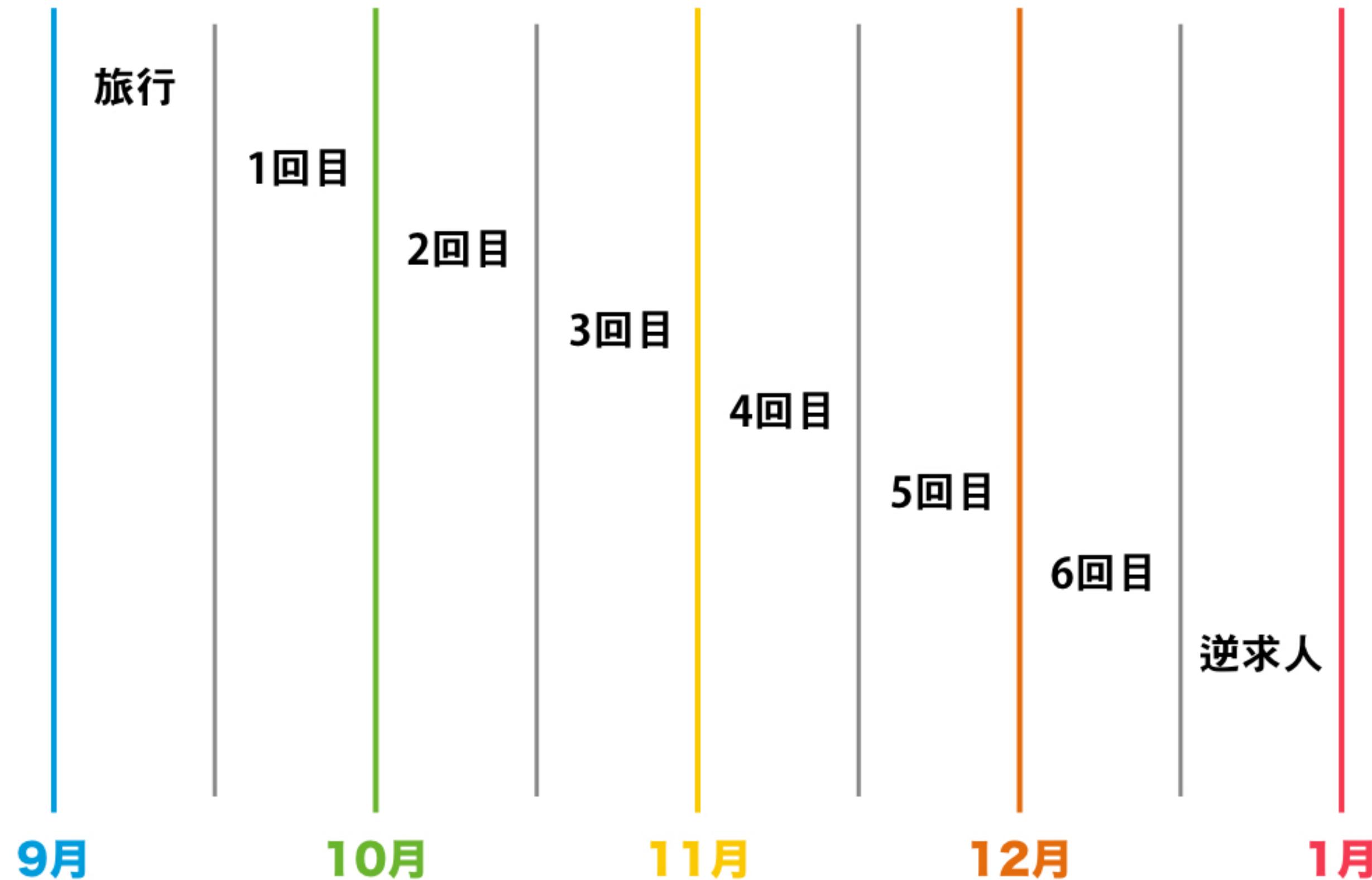


楽しく、いいものを作ろう



スケジュール

Schedule



スクール

9月の第4週からスタート！！

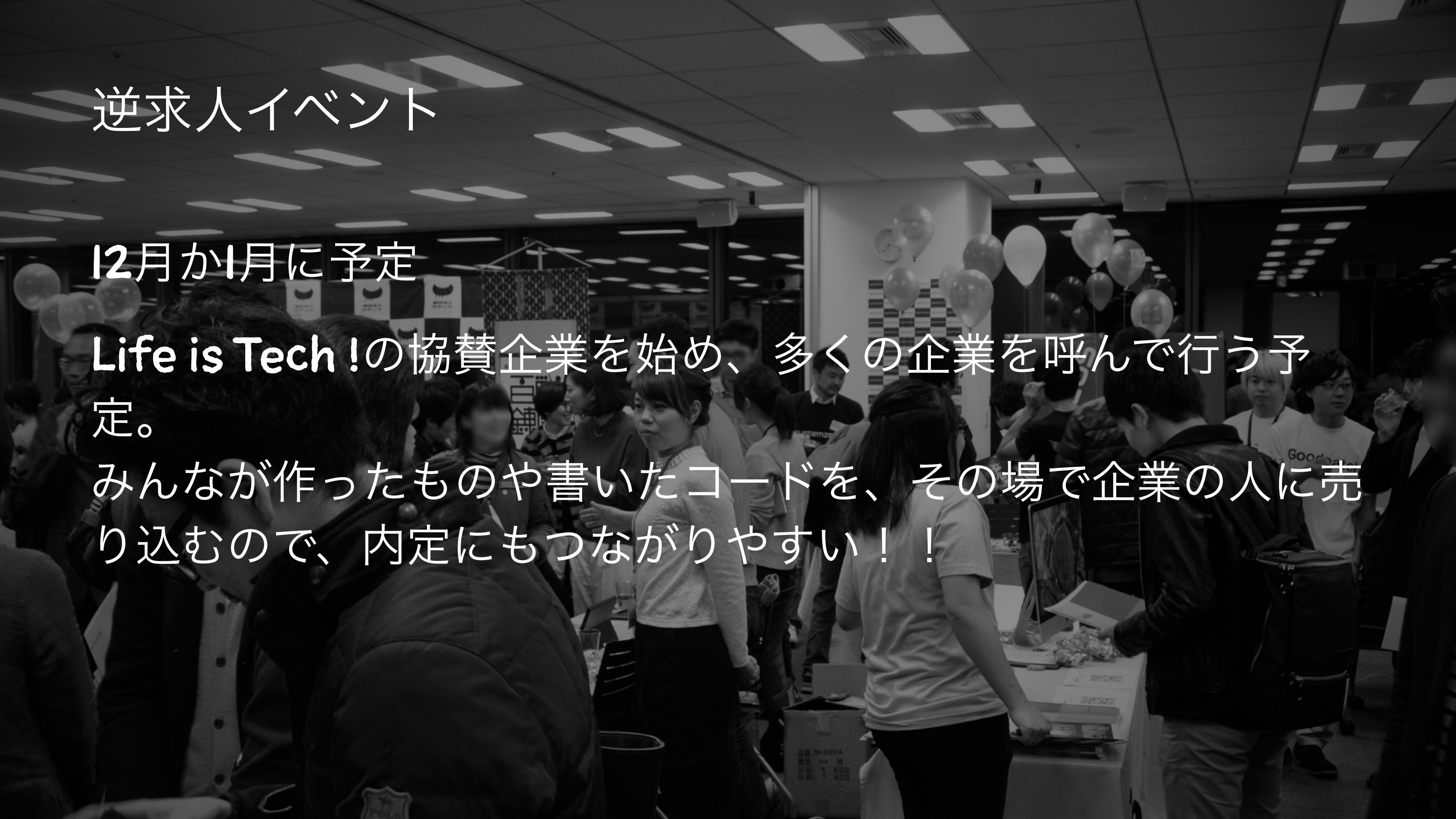
- 隔週で全6回を予定(半期:3回)
- 細かい曜日や、日程などは参加者が確定した後に検討

逆求人イベント

12月か1月に予定

Life is Tech !の協賛企業を始め、多くの企業を呼んで行う予定。

みんなが作ったものや書いたコードを、その場で企業の人に売り込むので、内定にもつながりやすい！！



< CODING TRIP >

Develop



Recruit



2016.9.13 - 15



Secret



Free

キックオフ旅行

MentorsSchoolの講師、運営、参加者で2泊3日で開発合宿に行きます。内容はチームでやる何かを予定しています。
(参加者や人数によって、検討)

徹夜やデスマーチがつきものの開発合宿とは違って、ゆったりとした環境で心ゆくまでコーディングをする合宿です。

こちらの応募はもう少し先になります。(8月中旬くらい)

スクールの費用

半期: 15000円

使用用途:

- 講師の講演料
- 会場費
- その他、アクティビティなど用の雑費

スクールの費用

~~半期：15000円~~

半期：7500円

※ライフィズテックが半分を負担

質問タイム